

記 事

◎第7回理事会（昭. 29.11.17）

出席者：菊池副会長，兼重，飯田，中路，最上，後藤，星埜，篠原の各理事，中川書記長，棒箸，朝倉，堀内の各主任。議事：1) 10月中の行事その他報告，2) 40周年記念事業関係委員会委員その他尽力者に記念品贈呈について，3) 土木工事写真集の贈呈先について，4) 土木工学ハンドブックの定価改訂，印税，刊行祝賀会，主査及び幹事に記念品贈呈その他について，5) 土木賞委員会委員について，6) 明年5月総会開催地について，7) 第1回大河内記念賞受賞候補者について，8) 明年度国際会議について，9) 昭和30年度文部省科学研究費等分科審議会の委員候補者推薦について，10) 会員入退会について，11) その他。

◎各種委員会

1. 学会誌編集委員会（昭. 29.11.24）

出席者：最上，後藤正副委員長，矢野（関西）地方委員，久保，丸安，吉川，三上，山本（代佐藤），大宮，鈴木，森（代国分）各委員，中川書記長，徳平幹事，岡本編集部員。協議事項：1) 会誌および論文集進捗状況報告，2) 投稿論文及び新規受付論文審査委員の決定，3) 依頼原稿について，4) 土木賞選定方針について，5) 40巻2号登載論文を次のとおり予定した。

米沢 博：直交異方性板理論による桁橋構造の自由振動に関する研究，吉村虎藏： 級数和を利用するモーメント分配法，酒井忠明：壁厚が直線的変化をなす円筒形水槽の応力計算数値表，深谷俊明：三径間連続パリ橋における断面二次モーメント比の影響について。

2. 学会誌抄録委員会（昭. 29.11.9）

出席者：左合委員長，林，樋口，平嶋，山口，渡辺（修）梅田，久保島（代国分），各委員，千秋幹事，徳平編集幹事，岡本編集部員。協議事項：1) 40巻1登載用として3編を予定する（割当4ページ），2) 緑越10編，新規9編について協議した。

3. 第18回コンクリート鉄道構造物委員会（昭. 29.11.11）

出席者：吉田委員長，沼田，高橋，丸安の各委員，山内，和仁，白石，三浦，横山，深谷，田村，川口の各幹事。議事：15条土圧3項，17条，18条を審議。

第19回同委員会（昭. 29.11.25）

出席者：吉田委員長，高橋，丸安，友永の各委員，和仁，白石，杉木，池原，横山，深谷，田村，川口の各幹事。議事：1) 18条3項，19条，24～28条逐条審議。

5. 第28回プレストレストコンクリート委員会（昭. 29.11.12）

出席者：吉田委員長，沼田，国分，山田，田原，片平（代宮崎），川崎，猪股，宮崎，海上（代白木），齋島，渡辺（代木村），木村（代星野），山崎，友永，樋口，田村，川口の各委員。議事：24～26条逐条審議。

第29回同委員会（昭. 29.11.26）

出席者：吉田委員長，田中，田原，猪股，宮崎，樋口，深谷，渡辺（代大西），菅原，沼田，三浦，山崎，村田，齋島，海上（代白木），川口，田村の各委員。議事：27条～29条逐条審議。

5. 第3回大正以降土木史編集委員会（昭. 29.11.18）

出席者：鈴木，金子正副委員長，山本（代），坂本，藤野，林（代瀬尾），田村，高野（代川崎），五十嵐（代並木），大森，寺島，武井，中路，高坂，市浦（代），岡本，谷藤，山田の各委員，玉田，中尾の両幹事及び中川書記長，棒箸主任。議事：1) 各部門の進捗状態報告，2) 土木教育，建設業の担当委員について，土木一般は正副委員長担当すること，3) 顧問委員の問題は全部門の振合を見て最後に決定のこと，4) 土木行政には国家予算の大綱を示し，各部門では必要な場合に取入れること，5) 大先輩に一度集つていただいて御意見をうかがう機会を作ること。

6. 第4回土木会館建設委員会（昭.29.11.19）

出席者：金子委員長、立花、佐藤、町田、渡辺の各委員、五十嵐幹事、中川書記長、捧箸主任。議事：1) 用地問題につき各委員その後の経過説明、2) 売却建物があるとの情報については町田委員詳細調査のこと。

◎その他の

1. 日本気象学会では11月9~12日台風シンポジウムを開催し、非常に盛大であつた。
2. 11月25~26日に“風に関するシンポジウム”を理工研で開催し、予想外の盛況裡に終始し多大の成果を得た。

支部だより

1. 関西支部 第2回土木工事研究会（昭.29.11.19）

参加人員 130名、橋に関する工事研究会であつて演題及び講師は次のとおりで講員の盛況裡にきわめて有意義であつた。

大阪府昭平橋工事（大阪府土木部 藤森 哲）

大阪府正蓮寺橋取付坂路工事（オリエンタルコンクリートKK 木村又左衛門）

信楽線第一大戸川橋梁の設計施工（国鉄大阪工事事務所 仁杉 巍）

P・Cラーメン隅角構造に関する研究（京都大学 近藤泰夫）

海岸工学研究発表会（昭.29.11.20~21日、神戸市真珠会館において）

参会者 290名、講師は運輸省第三港建局長天埜良吉外 15名（土木学会誌第39巻第10号予告欄参照）

2. 西部支部 上椎葉アーチダム見学会（昭.29.11.26）

7時20分豊線富高駅に集合、バスに分乗し現場に到着十分見学の後、帰路につき富高駅で19時解散、参加人員130名で非常な盛況であつた。

第10回幹事会（昭.29.11.30）

出席者：田代幹事長、武田、下津、天方、下川、和田（代）、上田、石川、吉開の各幹事、柳川書記。議事：

- 1) 昭和30年度土木学会総会、九州開催について、2) 昭.29.12.10 映写会開催について、3) 土木賞委員推薦について、4) 上椎葉ダム見学報告、5) その他

正員 金丸正春氏（京都市伏見区桃山町松平筑前16）は12月5日脳出血にて急逝されました。荒川上流工事竣工式出席後川越の知人宅にて亡くなられたものです。正員 福西正男氏（29年11月16日）、准員 秋元賛司氏（29年2月2日）はそれぞれ死亡された旨連絡がありました。本会はここに謹んで哀悼の意を表します。

昭和 29 年 11 月分入退会報告（昭.29.11.1~11.30）

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1. 入 会 | 182名（正 50, 准 58, 学生 74） |
| 2. 退 会 | 8名（正 4, 准 2, 学生 2） |
| 3. 転 格 | 5名（准より正 4, 学生より准 1, 正より准 1） |

会員現在数(29.11.30現在)

名譽員	賛助員	特別員	1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加数
22	16		33	75	150	5 328	6 129	1 549	13 302	174

昭和 29 年 12 月 10 日 印 刷 創立 40 周 年 記 念 号 特別定価 250 円
 昭和 29 年 12 月 15 日 発 行 土木学会誌 第 39 卷 第 12 号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美
 印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大沼正
 印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社技報堂

東京中央郵便局区内 千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20) 3945番
 4078番

発行所 社団法人 土木学会 振替東京 16828番